

発信 「いのちの電話」カウンセリング講座 着信 命つなぐ相談員、数不足

1日90人、この数字は昨年の国内での1日平均の自殺者の数です。県内の自殺者は過去最多の406人で、1日1人以上の方が自ら尊い命を絶っています。警察庁の発表では2009年1年間の国内の自殺者数は3万2845人で、1998年以来12年連続で3万人を超えました。

今の日本社会に多くの方が閉塞感を抱き、さまざまなストレスの中で生きる意味や希望を

喪失し、職場や地域、家庭での絆が失われています。人はどんな些細なことでも話を聞いてくれる人が必要です。現実には多くの方が悩みを誰にも相談できず、不安や孤独の中であえいでいます。

自殺の原因はさまざまですが、自殺は決して個人の「自由意思に基づく選択の結果の死」ではなく、「追い込まれた末の死」なのです。沖縄いのちの電

話は、創設以来34年にわたり年中無休で悩める人の声に真摯に耳を傾け、現在約100人のボランティア相談員が毎日午前10時から午後11時まで13時間体制で対応し月約900件、年間では約1万件の相談を受けています。しかし相談員の絶対数が不足しています。沖縄いのちの電話では、2010年度のカウンセリング公開講座を6月3日午後7時から9月24日まで開講致します。募集定員は60人。問い合わせは、沖縄いのちの電話事務局、電話098(888)4747。

(浜端宏次、沖縄いのちの電話事務局長)

000字)、「茶のみ話」(600字)、「発信・着信」(600字)。投稿先は、郵便番号900-8678 那覇市おもろまち1-3-31 電子メールは opinion@okinawatimes.co.jp ファクスは098(860)3195。問い合わせは電話098(860)3773。